

下関北九州道路の計画段階評価について（報告）

下関北九州道路は、本州と九州を結ぶ関門間の安定した道路交通を支え、関門地域の連携を強化する道路である。これまでに2県2市が主体となって実施した地域での調査検討や、国による直轄調査が進められてきたが、令和2年度から計画段階評価に着手することとなった。

今回、計画段階評価の手続きとして、事業の効率的な実施に関し意見を聴取するため、第1回中国・九州地方合同小委員会が開催されたので内容を報告する。

1 計画段階評価

概略ルートや構造を決定する際に、地方小委員会（※）に諮り、政策目標や道路整備による影響等の観点から、複数案の比較・評価検討を実施するもの。
※直轄事業の事業評価など地方における道路事業の効率的な実施に関し、意見を聴取すること等を目的として、地方ごとに設置される。

2 第1回中国・九州地方合同小委員会【資料1】（議事概要）

- (1) 日時：令和2年7月15日（水） 13:00～15:00
- (2) 議題：計画段階評価
・下関北九州道路【山口県、福岡県】（第1回）

3 検討項目【資料2】（第1回 説明資料）

- (1) 政策目標の設定
 - ・地域課題や将来像等を踏まえ、4つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対応策を検討。
- (2) 構造形式の設定
 - ・地域が重視する道路交通等へ与える影響や、海上部の概略構造の適用可能性等を踏まえ、橋梁案が妥当。
- (3) 比較ルート帯案の設定と比較評価
 - 案①：臨海部の産業拠点の連絡性を高める案
 - 案②：両市の中心部を結び、集落や市街地を可能な限り回避した案
 - 案③：両市の中心部を結び、海峡渡河部の距離を最小とした案
 - ・4つの政策目標や道路整備による影響といった視点から評価指標を設定し、定量的なデータで上記3案の比較評価を実施。
- (4) 意見聴取方法
 - ・意見聴取は、沿線自治体へのヒアリング、団体および企業、沿線住民へのアンケートに加え、オープンハウス等を実施予定。

【資料 1】

社会資本整備審議会 道路分科会

中国・九州地方合同小委員会（令和2年度 第1回）

議事概要

1. 日 時

令和2年7月15日（水） 13:00～15:00

2. 場 所

中国会場：中国地方整備局建政部 3階 第1、第2会議室

九州会場：九州地方整備局（福岡第二合同庁舎） 2階共用会議室

※中国会場、九州会場をWEB会議で中継

3. 出席者

〈委員長〉

辰巳 浩 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授

〈委員〉

大枝 良直 九州大学大学院 工学研究院 准教授

河西 宏 長崎都市経営戦略推進会議 推進役

笹川 理子 弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士

嶋本 寛 宮崎大学 工学部 社会環境システム工学科 准教授

戸田 順一郎 佐賀大学 経済学部 准教授

吉田 まりえ 九州の暮らし創造研究所 代表

藤原 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

小池 淳司 神戸大学大学院 工学研究科 教授

山田 知子 比治山大学 現代文学部 マスコミュニケーション学科 教授

4. 議事内容

【審議結果】

【下関北九州道路】

- ・ 政策目標の設定、複数案の設定、評価項目の設定、複数案の比較評価、意見聴取の内容・方法については、妥当と判断する。
- ・ 今後の意見聴取にあたっては、道路の広域的な役割や、橋梁構造を前提として対応方針（複数案）の検討をしていること等が、より分かりやすい表現となるよう工夫して頂きたい。
- ・ 意見のとりまとめにあたっては、多様な意見について丁寧に扱うこと。

以上